

第1回 さつま町女性大会

1月29日、第1回さつま町女性大会が『わたしが創るあなたが創るさつま町 - おごじょパワーでまちは元気』を大会テーマに薩摩農村環境改善センターで開催されました。

この大会は、女性自ら主役となり、まちづくりのための実践活動を積極的に展開し、女性の社会参加の促進を図り、男女共同参画社会の実現と地域社会の発展に寄与することを目的とするもので、町内の女性団体などから約260人が参加しました。

オープニングで「BMみやのじょう」のすばらしいコーラスが披露された後、町女性団体連絡協議会の上別府ユキ会長が「一人ひとりが提案し、積極的に行動することが大事」とあいさつしました。

その後、第一工業大学の石田尾博夫教授が『女性の視点からさつま町のまちづくりに期待すること』と題して講話されました。

また、パネルディスカッションも行われ、「さつまおごじょ元気会」の産業経済、保健福祉など5分科会の代表がパネリストとして参加し、商店街の空き店舗対策やごみ減量、リサイクル問題について提案しました。



講話する石田尾教授



活発な意見が出されたパネルディスカッション

観客を魅了!

みやんじょ吹奏楽フェスタ2006

1月29日、「みやんじょ吹奏楽フェスタ2006」が宮之城文化センターで開催されました。

合併後に開催する初めての吹奏楽フェスタでしたが、例年にもまして多くの観客で賑わいました。

今回は、初の試みとして吹奏楽未経験の小・中学生を募集、集まった21名でファンファーレ隊を結成。オープニングで初めて演奏を披露しました。

その後、盈進小学校や宮之城中学校・鶴田中学校・薩摩中学校の3中学校の合同演奏、高校生から一般までの吹奏楽経験者による合同演奏などが行われ、年代を超えた「吹奏楽のまち」にふさわしいすばらしいステージに、会場に詰めかけた大勢の観客から感動の惜しみない拍手が送られました。

また、宮之城吹奏楽団によるピアノとのコラボレーションステージでは、ピアノと各楽器のすばらしいハーモニーが繰り広げられ、本県を代表する「宮吹」の演奏に観客も聴き入っていました。

最後は参加者全員で「ふるさと」を演奏し、吹奏楽で満たされた一日を満喫しました。



盛り上がった合同演奏



オープニングを飾ったファンファーレ隊